

保証規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書にしたがった正常な使用状態で、お買い上げ後2年以内に故障した場合には無償修理または交換いたします。
 2. 無償保証期間内に故障して修理を受ける場合は、オムロンお客様サービスセンターにご連絡ください。
 3. 無償保証期間内でも次の場合には有償修理になります。
 - (イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の落下などによる故障および損傷。
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や電源の異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷。
 - (二) 本書の提示がない場合。
 - (ホ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
 - (ヘ) 消耗部品。
 - (ト) 故障の原因が本商品以外に起因する場合。
 - (チ) その他取扱説明書（本書）に記載されていない使用方法による故障および損傷。
4. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
 5. この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償保証をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
 6. 補修用部品は製造打ち切り後、最低6年間保有しています。

オムロン全自動血圧計 HEM-906

操作用取扱説明書

■このたびは、オムロン商品をお買い上げいただきましてありがとうございました。

＜操作者および保守管理責任者へのお願い＞

- 安全に正しくお使いいただくため、ご使用前にこの操作用取扱説明書を必ずお読みください。
- 本書はいつもお手元においてご使用ください。
- 本書は品質保証書を兼ねています。紛失しないように保管してください。
- 医用電子機器の使用・保守の管理責任は、使用者（病院・診療所）側にあります。医師および法的有資格者以外は、ご使用にならないでください。さらに、熟練者以外は使用しないでください。

もくじ

必ずお読みください

免責事項.....	1
安全上のご注意.....	2
安全事項説明記録.....	6

商品について

商品の特長.....	7
商品の構成／オプション（別売品）.....	8
各部の名称と機能.....	9

ご使用前の準備

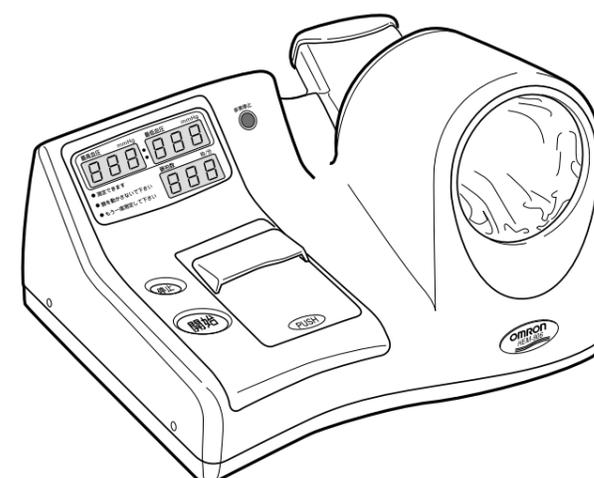
設置する.....	11
本体を設置する.....	11
電源を接続する.....	12
カフカバーを装着する.....	13
印字モードを設定する.....	14
プリンタ用紙をセットする.....	15
日付・時刻を合わせる.....	17

測定方法

測定する.....	19
安全機能について.....	20
測定回数を確認する.....	20
使用後の清浄について.....	21
較正機能について.....	23

仕様／保証など

エラーコード一覧.....	25
おかしいな?と思ったら.....	27
お問い合わせ先.....	29
仕様.....	30
保証規定／品質保証書.....	裏表紙



品質保証書

このたびは、オムロン商品をお買い求めいただきありがとうございました。商品は厳重な検査をおこない高品質を確保しております。しかし通常のご使用において万一、不具合が発生しましたときは、保証規定によりお買い上げ後、二年間は無償修理または交換いたします。

※商品の保証は、日本国内での使用の場合に限りです。
This warranty is valid only in Japan.

※以下につきましては、必ず販売店にて、記入捺印していただくください。

販売名 オムロン全自動血圧計HEM-906 <hr/> ご芳名 <hr/> ご住所 <hr/> Tel. ()	お買い上げ店名 <hr/> <div style="text-align: right;">印</div> 住所 <hr/> Tel. () <hr/> お買い上げ年月日 年 月 日
---	---

製造販売元

オムロンヘルスケア株式会社

〒615-0084 京都府京都市右京区山ノ内山ノ下町24番地



免責事項

下記の記載内容につきましては当社では、責任を負いかねますのでご了承ください。

1. 当社または当社の指定した業者以外による保守および修理に基づく故障、損傷が発生した場合。
2. 当社が納入した製品以外の他社製品が原因で当社製品が受けた故障、損傷の場合。
3. 当社指定以外の補修用部品の使用による保守および修理に基づく故障、損傷の場合。
4. この操作用取扱説明書に記載されている安全上の注意や操作方法を守らなかった結果に基づく故障、損傷の場合。
5. この操作用取扱説明書に記載されている電源、設置環境など製品の使用条件を逸脱した場合。
6. 製品を改造あるいは、不当な修理をされた結果に基づく故障、損傷の場合。
7. 火災、地震、水害、落雷など天災による故障、損傷の場合。

1. 本書の内容について、予告なく変更することがあります。
2. 本書の内容については万全を期して作成していますが、万が一不備な点や誤りなどお気づきの点がございましたらご連絡ください。(☎ 29ページ)
3. 本書の一部または全部を無断で複製することは禁止されています。また、個人(法人)としてご利用になる他は、著作権法上、当社に無断で使用できません。

安全上のご注意

お使いになる前に必ずお読みください

- ここに示した警告サインと図記号の例は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や、他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。
- 表示と意味は次のようになっています。

警告サイン	内容
 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害*の発生が想定される内容を示します。

*物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットに関わる拡大損害を示します。

図記号の例	
	△記号は注意(警告・危険を含む)を示します。 具体的な注意内容は、△の中や近くに文章や絵で示します。 左図の場合は“発火注意”を示します。
	⊘記号は禁止(してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに文章や絵で示します。 左図の場合は“分解禁止”を示します。
	●記号は強制(必ず守ること)を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに文章や絵で示します。 左図の場合は“電源プラグを抜く”を示します。

警告	
測定中に加圧が止まらないなどの異常があったときは、すみやかに「非常停止」スイッチを押してください。「非常停止」スイッチを押しても異常がおさまらないときには電源を切ってください。 ・末梢神経障害が発生する恐れがあります。	
カフカバーが血液で汚染された場合は、そのカフカバーを廃棄してください。 ・感染症が伝染する恐れがあります。	
右腕に傷がある状態で測定しないでください。 ・傷口が悪化したり、カフカバーが血液で汚染される場合があります。	
アースコード(機能接地線)はガス管に接続しないでください。 ・引火爆発の恐れがあります。	
可燃性の高い麻酔薬など引火性のガスの発生する場所および高圧酸素室、酸素テント内に設置しないでください。 ・引火爆発の恐れがあります。	
濡れた手で「電源」スイッチや電源プラグ、電源コネクタに触れないでください。 ・感電の恐れがあります。	

安全上のご注意

⚠️ 注意	
電源コードおよびアースコード（機能接地線）は機器操作の妨げにならないように配線してください。 • ケガをすることがあります。	
電源プラグは、しっかりと根元まで差し込んでください。 電源プラグに付いたホコリは拭きとってください。 • 感電、ショート、発火の原因になります。	
測定結果の自己判断、治療は危険ですので医師の指導に従ってください。 • 自己判断は、病気が悪化することがあります。	
重度の血行障害または血液疾患のある方は、医師の指導のもとご使用ください。 • 圧迫により一時的に内出血が発生することがあります。	
本血圧計に故障を発見した場合は、使用をただちに中止し、「電源」スイッチを切り、電源プラグを抜いてオムロンお客様サービスセンターへご相談ください。（☎️ 29ページ） • 感電、ショート、発火の原因になります。	
「停止」スイッチを押して、カフが開放されてから腕を抜くようにしてください。 • 測定中、無理に抜くと、カフとの摩擦でケガをすることがあります。	
停電時には、カフの巻き付けをゆるめてから腕を抜いてください。 • ケガをすることがあります。	
長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 • 絶縁劣化により感電や漏電火災の原因になります。	
部品の取り付け、取りはずし、お手入れのときには、必ず電源プラグを抜いてください。 • 感電やケガをすることがあります。	
清浄後はよく乾燥させてから、電源プラグをコンセントに差し込んでください。 コード類を取りはずすときは、引っ張るなど無理な力をかけないでください。 • 事故やトラブルにつながる恐れがあります。	
本血圧計の清掃は電源プラグを抜いてからにしてください。 • 感電の恐れがあります。	
本血圧計の分解や改造はおこなわないでください。 • 感電や火災、障害、故障の恐れがあります。	
指定外の部品および機器を取り付けしないでください。 • 破損の恐れがあります。	
電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。 • 感電、ショート、発火の原因になります。	
電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また重い物をのせたり、挟み込んだりしないでください。 • 絶縁劣化により感電や漏電火災の原因になります。	
上腕以外の部位を挿入しないでください。 • ケガをすることがあります。	
プリンタ用紙出口をふさがないようにしてください。 • プリンタ用紙がつまり発煙・発火の原因になります。	

⚠️ 注意	
電源は医用コンセント（接地極付き、AC100V）をご用意ください。 • 火災や感電の原因になります。	
タコ足配線はしないでください。 • 火災や漏電の原因になります。	
コンセントから電源プラグを抜くときは、電源コードを持って引っ張らず、必ず電源プラグを手で持って抜いてください。 • 電源コードが断線やショートして火災や感電の原因になります。	
プリンタ用紙出口に異物を入れないでください。 • モーターが加熱し発煙・発火の原因になります。	

お願い	
<ul style="list-style-type: none"> ■ 周囲温度10～40℃、湿度30～85%RHの場所に設置してください。 ■ 次のような場所には設置しないでください。 <ul style="list-style-type: none"> • 直射日光が当たる場所 • 空気中に多量のホコリ、塩分、硫黄分などのある場所 • 水や薬液のかかる恐れのある場所 • 傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）などのある場所 • 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所 	
<ul style="list-style-type: none"> ■ 本血圧計の近くで携帯電話を使用することは避けてください。 ■ 本血圧計の上に物をのせたり、置かないでください。 ■ 本血圧計の移動時は必ず「電源」スイッチを切り、接続してある電源プラグ、アースコードをはずしてから移動してください。 ■ 自分で意思表示できない人には1人で使用させないでください。 ■ 他の装置と併用時は、併用する装置の取扱説明書もよく読み、警告および注意事項をよく理解して使用してください。 ■ 次のことを確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> • スイッチなどの点検をおこない、本血圧計が正常に動作すること。 • カフカバーが正しく装着されていること。 • すべてのコードの接続が正確かつ完全であること。 	
プリンタ用紙が自動切断されるまで引っ張らないでください。 • 紙づまりの原因になります。	
<p>本血圧計および患者に異常のないことを絶えず監視してください。 次のような場合、聴診法などにより、確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 不規則脈波が印字されたとき <ul style="list-style-type: none"> • 外部からの振動や患者の測定中の動きで、誤って不規則脈波表示されることがあります。 ■ エラーが発生したとき、測定値に疑問を生じたとき <ul style="list-style-type: none"> • 外部からの振動や患者の測定中の動きで、誤った表示をすることがあります。 • 末梢循環不全や著しい低血圧などのとき、測定値に誤差が生じたり、測定できないことがあります。 • 不規則脈波など血圧の短期変動の激しい患者の場合は測定に誤差が生じたり、測定できないことがあります。 	

安全上のご注意

お願い
<p>プリンタ清掃時に掃除機を先をプリンタに強くあてないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 故障することがあります。
<ul style="list-style-type: none"> ■電源を切るときは、操作スイッチなどをもとに戻してください。 ■本血圧計および付属品などは、使用后、清浄したのち整理保管してください。 ■本血圧計の清浄に際して、シンナー、ベンジン、高濃度アルコールなどの揮発性溶剤を使用しないでください。 ■本血圧計の殺菌に際してオートクレーブ、ガス滅菌（EOG、ホルムアルデヒドガス、高濃度オゾンなど）を使用しないでください。 ■次の場所には保管しないでください。 <ul style="list-style-type: none"> ・直射日光が当たる場所 ・空気中に多量のホコリ、塩分、硫黄分などのある場所 ・水、薬液のかかる場所 ・傾斜、振動、衝撃などのある場所 ・化学薬品の保管場所やガスの発生する場所 ・適温湿度（周囲温度-20~60℃、湿度10~95%RH）以外の場所

■保守点検について

- ・本血圧計は必ず定期点検してください。
- ・本血圧計をしばらく使用しなかったときは、使用前に必ず本血圧計が正常かつ安全に動作することを確認してください。

■耐用年数について

製造日から正規の保守点検をおこなった場合、5年あるいは3万回のいずれか早く到達した方とする。[当社データによる。]（カフカバー、プリンタ用紙は消耗品となります。）

■故障・事故発生時の処置法

装置エラー（Er9）が発生したときは、すみやかに次の手順に従ってください。

1. 患者の腕をカフより抜きます。
2. 電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。
3. 本血圧計に「故障中」の表示をして、使用しないようにしてください。
4. オムロンお客様サービスセンターまでお問い合わせください。（☎ 29ページ）

安全事項説明記録

安全事項説明記録

製造番号
設置年月日

お客様名称		電話番号		FAX番号	
所在地	〒	内線番号			
装置名		室名			
説明者所属		電話番号		FAX番号	

説明年月日	安全事項説明内容 (具体的に記入)	保守管理責任者		操作者 名前	説明者	
		お名前	認印		氏名	認印
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 操作者および保守管理責任者へのお願い 免責事項の説明 2. 安全上のご注意 2~5ページのすべての説明 					

商品の特長

■自然な姿勢で測定できる外形フォルム

■腕の太さに合わせた、最適自動巻き付け機構

■ファジィ理論を採用した自動加圧設定です

■静音設計により加圧音はとても静かです

■目的に合わせて、印字モードが選択できます

「測定値」「測定値および不規則脈波回数」「測定値および体脂肪率記入欄」の3つの印字モードから選択できます。

■オシロメトリック法による測定

カフの減圧（加圧）過程において、心臓の拍動に同期した圧脈波を検出して血圧値を決定します。コトコト音の小さな人や、比較的騒音の多い場所でも測定できます。

商品の構成／オプション（別売品）

箱の中には次のものが入っています。
万一、不足のものがありましたら、
オムロンお客様サービスセンター（☎電話 0120-30-6606）までご連絡ください。



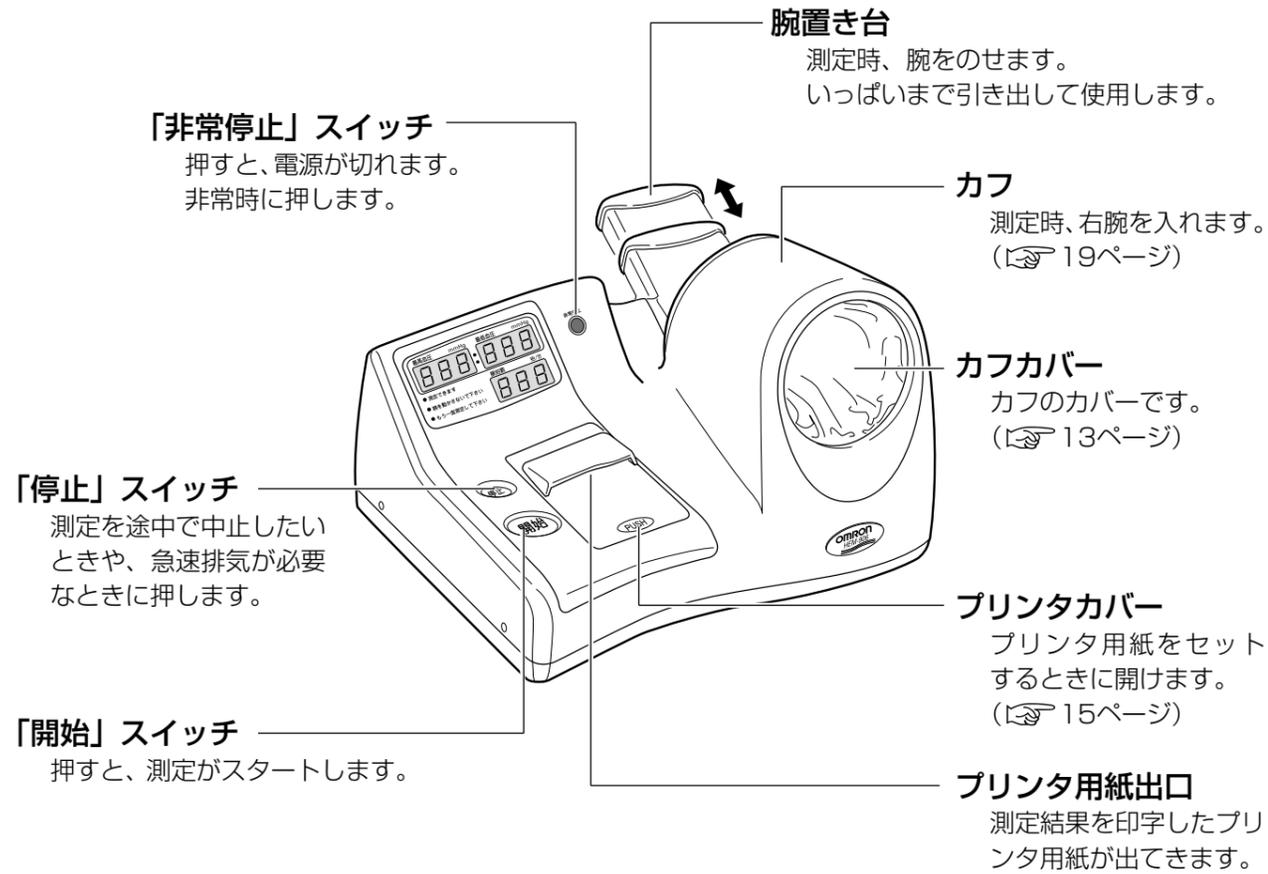
オプション（別売品）

オプション（別売品）のお求めは、オムロンお客様サービスセンター（☎電話 0120-30-6606）までお問い合わせください。

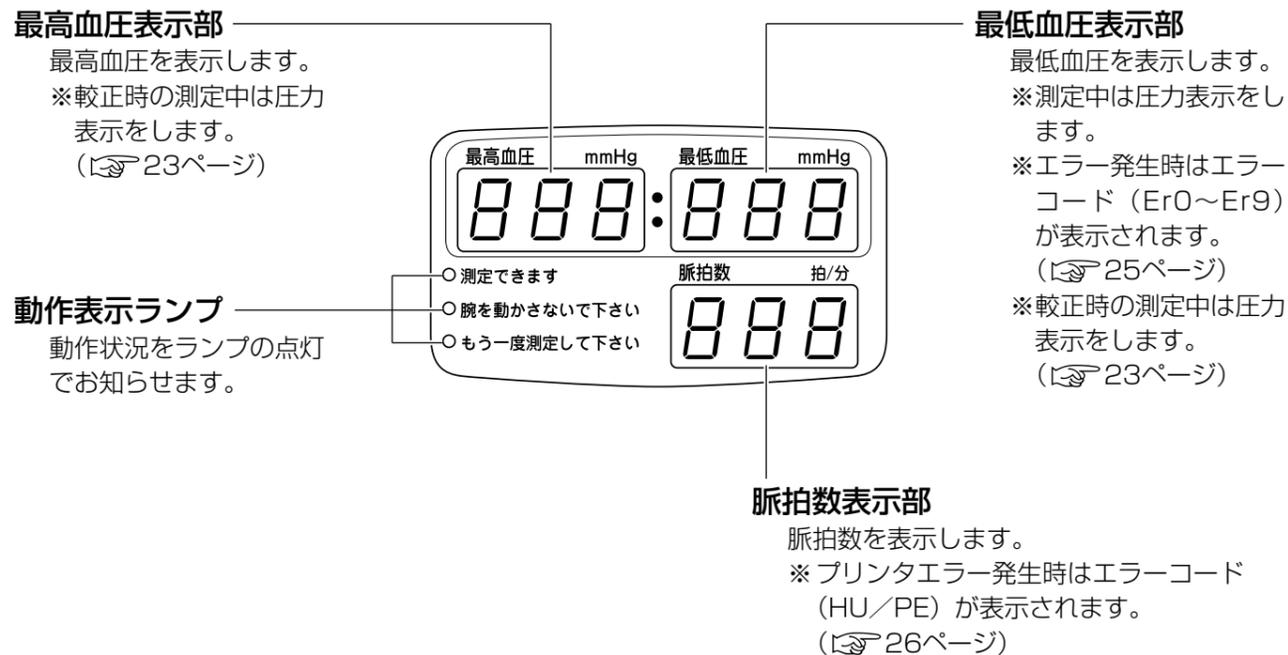


各部の名称と機能

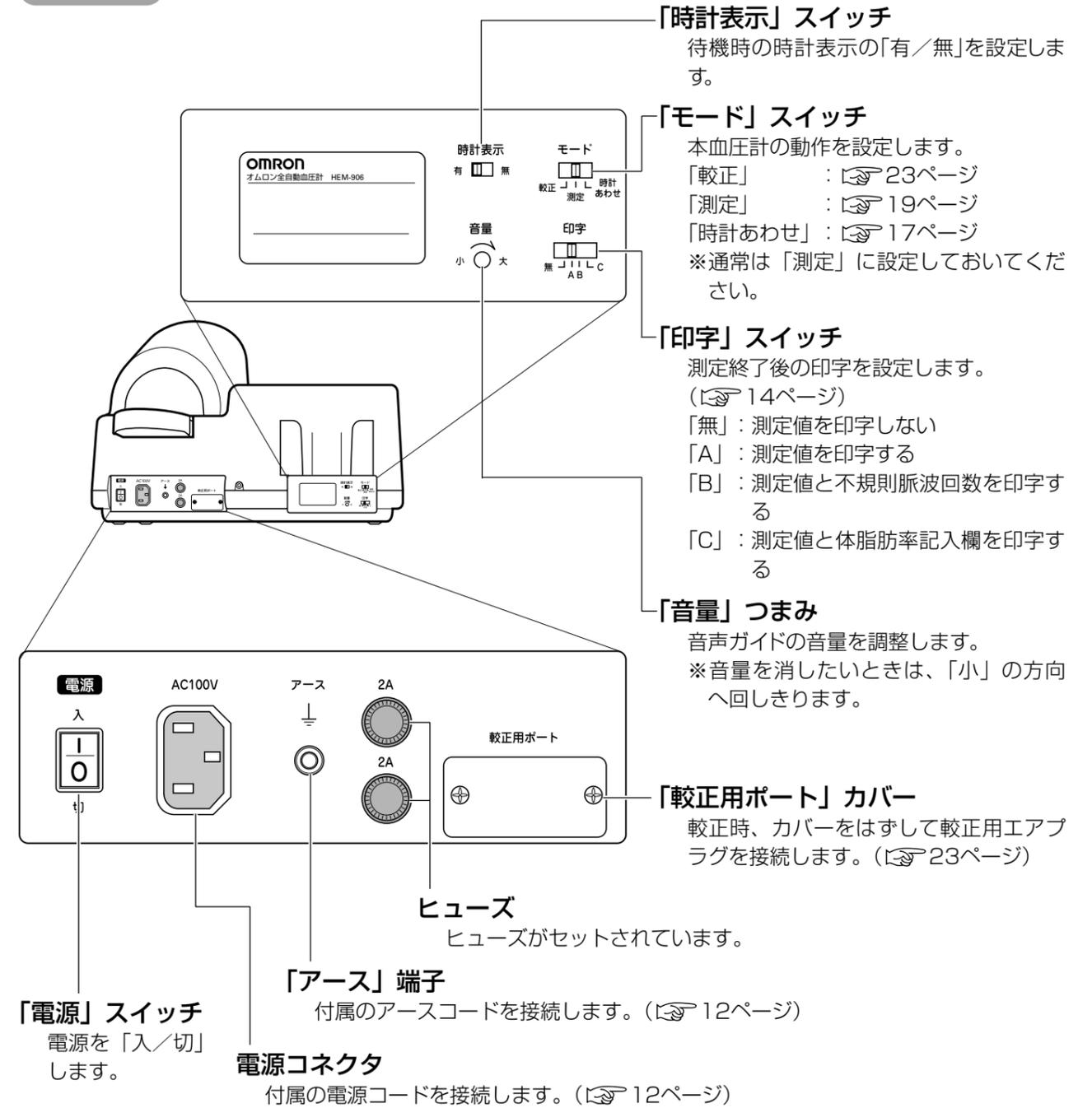
本体



表示部

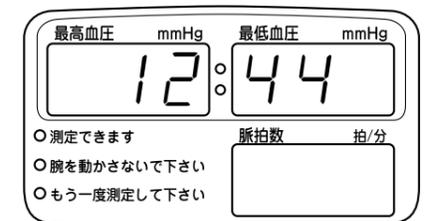


背面



■時計表示を「有」に設定したときは

測定操作が10秒以上おこなわれないと、表示部
に時計を表示します。
最高血圧表示部に「時」、最低血圧表示部に「分」
を表示します。
※「時計あわせ」の設定で24時間表示 (0:00~
23:59) / 12時間表示 (1:00~12:59) を選
択できます。(17ページ)



設置する

本血圧計を設置するときは、別売品の専用机と専用イスを準備してください。(▶8ページ)
別売品を使用しない場合、正しい血圧測定ができないことがあります。

※別売品の専用机と専用イスをご用意できない場合は、次に示す机とイスを準備してください。

- ・HEM-906を置く机：幅60cm以上／奥行き40cm以上／高さ70cm
(イスに座ったとき、両足が机の下にもぐり込める形状であること)
- ・患者が座るイス：座面の高さ43cm

※本血圧計を設置する環境は、室温20～25℃(寒さ暑さを感じない程度)に保たれた部屋に設置してください。

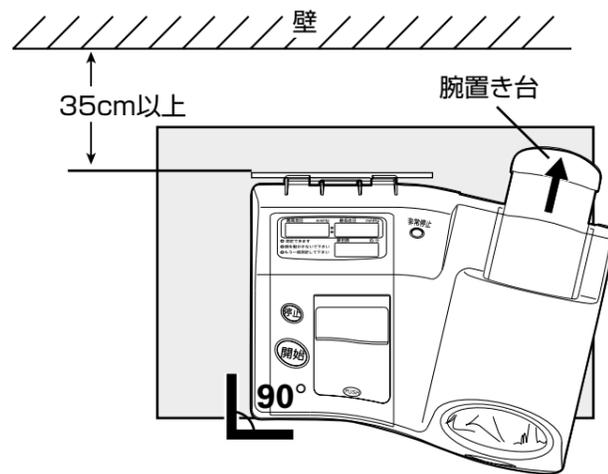
本体を設置する

1. 本体を机の上に置く

本体左側面を机前面ラインと直角にし、本体左前面を机前面ラインに合わせて設置します。

※専用机をお使いのときは本体を固定できます。

※背面から壁までの距離を35cm以上離してください。



2. 腕置き台をいっぱいまで引き出す

■ 正しく設置できましたか？

正しく設置すると、本体を前に見てまっすぐ座り、自然に腕をおろしたときの角度と、腕挿入部の角度が一致します。

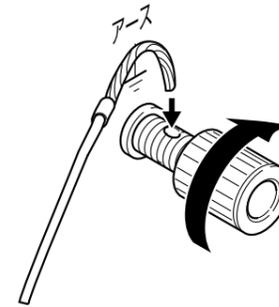


電源を接続する

1. 付属のアースコードを接続する

①一方を本体背面の「アース」端子に接続します。

②もう一方を医用接地端子に接続します。

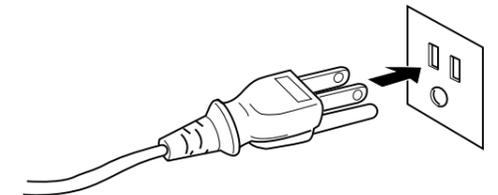
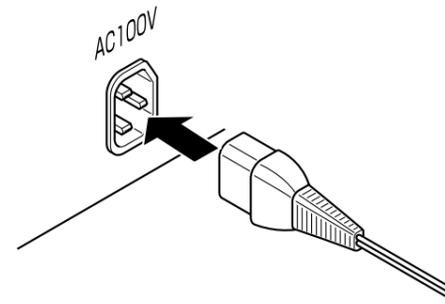


2. 付属の電源コードを接続する

①ソケット側を本体背面の電源コネクタに差し込みます。

※付属の電源コード以外は絶対に使用しないでください。

②プラグ側を医用接地型コンセントに差し込みます。



3. 正しく接続できているか確認する

「電源」スイッチを「入」にし、電源を入れます。右図に示す表示がすべて点灯することを確認してください。

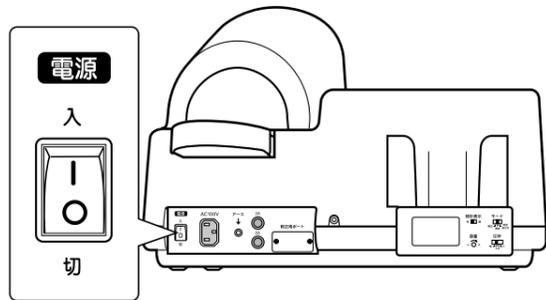


カフカバーを装着する

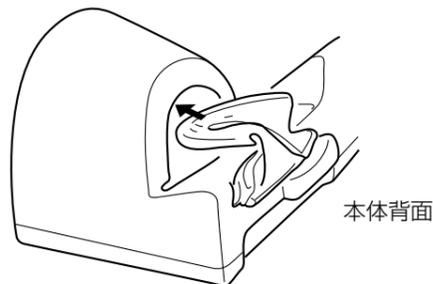
お買い求めのときはカフカバーは装着されていません。お使いになる前にカフカバーを装着してください。

- ・カフカバーが汚れた場合は、取りはずして洗濯してください。
- ・オプションとして交換用カフカバーをご用意しています。詳しくはオムロンお客様サービスセンターまでお問い合わせください。(P.29ページ)

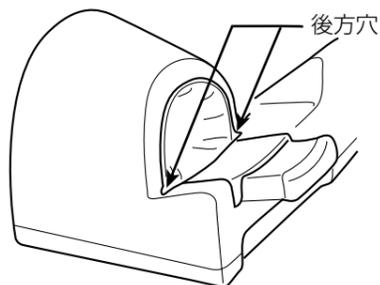
1. 「電源」スイッチが「切」になっていることを確認する



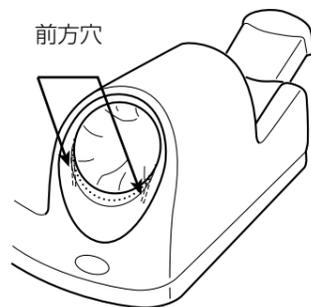
2. カフカバーの前側を後方から入れ、前方に引き出す



3. カフカバーの後側を後方穴に差し込む

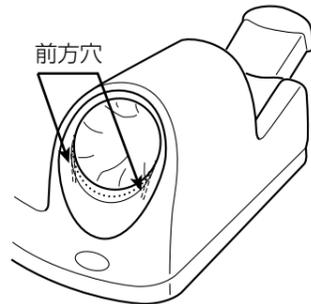


4. カフカバーの前側を前方ミゾへ入れ、前方穴に差し込む

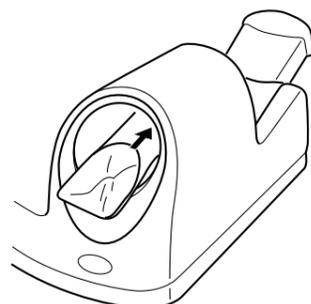


■ カフカバーを取りはずす

1. カフカバーの内側両端をつまんで前方穴からはずし、手前に引き出します。



2. カフカバーを後方へ通して取りはずします。



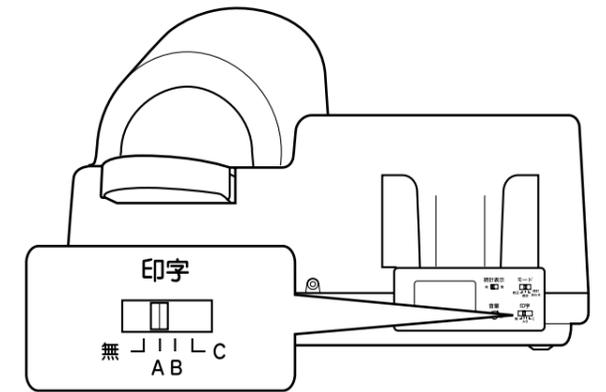
印字モードを設定する

本血圧計は、測定後に測定値を印字することができます。印字モードの設定は、背面の「印字」スイッチで切り替えます。

印字するときは、あらかじめプリンタ用紙をセットしてください。(P.15ページ)

背面の「印字」スイッチを切り替える

- 「無」：印字しない
- 「A」：印字モードAで印字する
- 「B」：印字モードBで印字する
- 「C」：印字モードCで印字する



印字モードAに設定した例

印字モードAの例

名前	名前記入欄
1999年 1月 1日	測定日時
12時22分	
最高血圧 118 mmHg	最高血圧
最低血圧 78 mmHg	最低血圧
脈拍数 65 bpm	脈拍数

印字モードBの例

名前	
1999年 1月 1日	
12時36分	
最高血圧 118 mmHg	
最低血圧 78 mmHg	
脈拍数 65 bpm	
Arr. **	不規則脈波の回数 ※この例は2回

印字モードCの例

名前	
1999年 1月 1日	
12時41分	
最高血圧 118 mmHg	
最低血圧 78 mmHg	
脈拍数 65 bpm	
体脂肪率 %	体脂肪率記入欄

■ 印字モードBの不規則脈波の回数（最高3回まで）について

本血圧計は不規則脈波検出機能を持っています。平均脈波間隔に対し、±25%以上の差がある場合に不規則脈波と判定します。
※不規則脈波は最大で3回まで検出します。不規則脈波が4回以上あっても3回までしか検出されません。

<印字の見方>

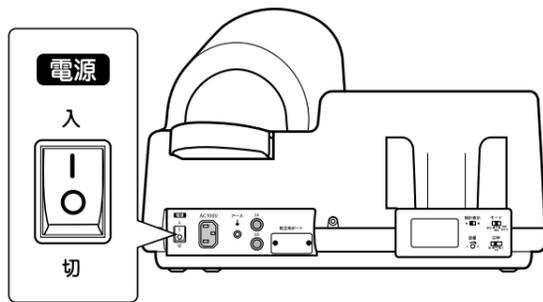
- 「Arr.*」：不規則脈波1回
- 「Arr.**」：不規則脈波2回
- 「Arr.**」：不規則脈波3回または不規則脈波4回以上

プリンタ用紙をセットする

測定値を印字するときは、プリンタ用紙をセットします。
印字するかどうかは印字モードで設定してください。(▶ 14ページ)

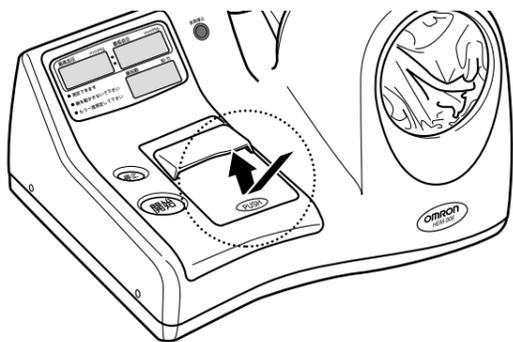
- ・プリンタ用紙は感熱紙を使用しています。発色したり、印字が退色しますので、記録として保管するときはコピーをとってください。
- ・プリンタ用紙が残り約1mになると赤線が出てきます。新しいプリンタ用紙をセットしてください。
- ・オプションとして交換用プリンタ用紙をご用意しています。詳しくはオムロンお客様サービスセンターまでお問い合わせください。(▶ 29ページ)

1. 「電源」スイッチを「入」にする

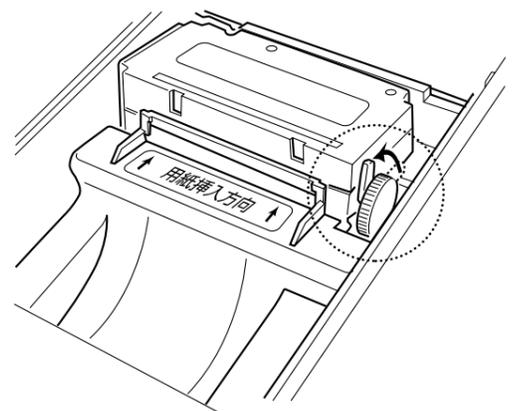


2. プリンタカバーを開ける

「PUSH」部を押して開けてください。

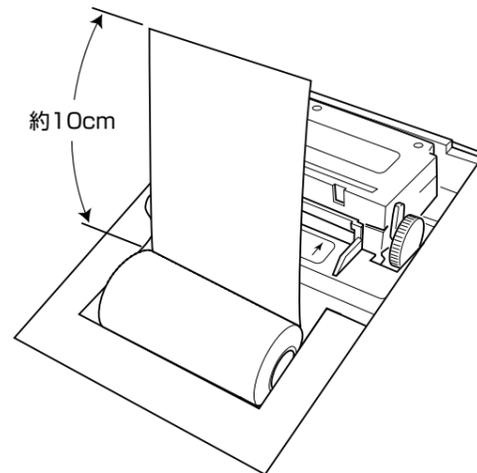


3. プリンタ横のレバーを上げる



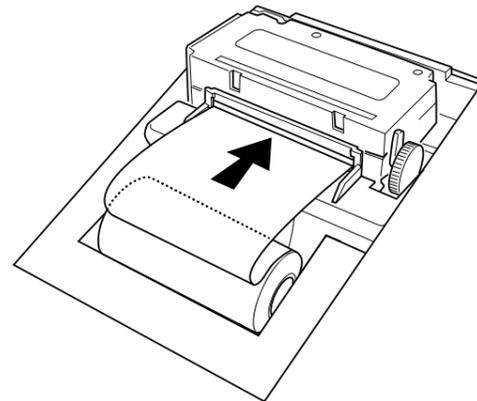
4. プリンタ用紙を置き、用紙を約10cm出す

プリンタ用紙の向きに注意してセットしてください。

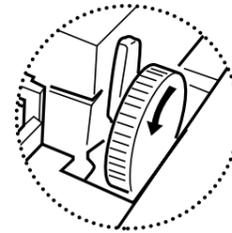


5. プリンタ用紙の先端を「」の形状で、まっすぐ挿入口に入れる

挿入口に入ると、用紙は自動的に装てんされます。

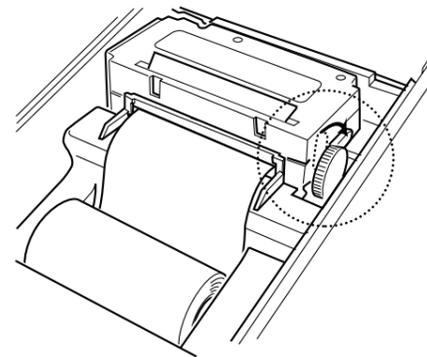


6. ダイヤルを回して、用紙のたるみをとる



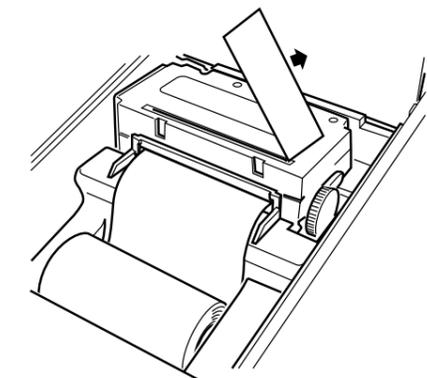
7. レバーを下げる

レバーを下げると、プリンタに用紙が送り込まれ、余分な用紙がオートカッターで切り取られます。



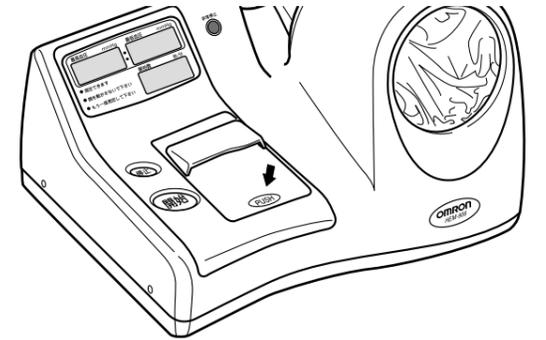
8. 切り取られた用紙を取りのぞく

用紙が切断されるまで、用紙を引っ張らないでください。紙づまりの原因になります。

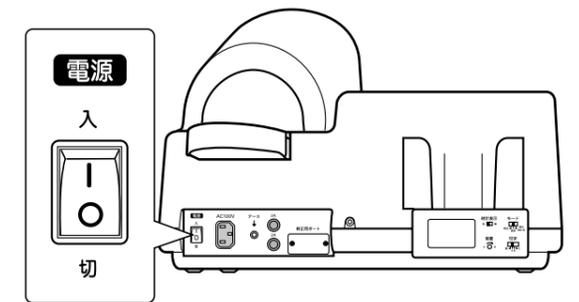


9. プリンタカバーを閉じる

プリンタカバーがしっかり閉じていないと、紙づまりの原因となります。



10. 「電源」スイッチを「切」にする



日付・時刻を合わせる

日付と時刻を正しく合わせておくと、測定日時も印字します。

- ・「開始」スイッチ：次の設定項目に移動するときに押します。
- ・「停止」スイッチ：押すごとに設定値を1つつ進めます。押し続けると早送りします。

※設定したい値を通り過ぎてしまった場合、早送りすると最初の数字に戻ります。

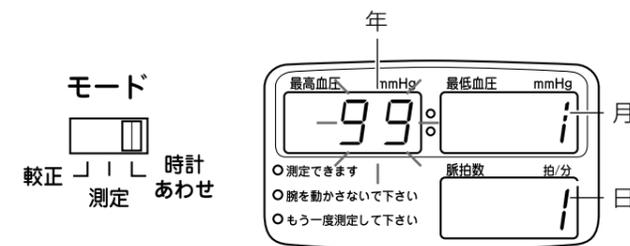
1. 「電源」スイッチを「入」にする

全点灯表示になります。



2. 本体背面の「モード」スイッチを「時計あわせ」に切り替える

「年・月・日」表示になり、「年」が点滅します。
※表示例は「99年1月1日」です。



3. 現在の「年」「月」「日」に合わせる

①「停止」スイッチを1回押すと…1年進む。必要な回数を押して、現在の「西暦年」に合わせる。

※設定範囲は1999年～2030年です。

※合わせたい「西暦年」を通り過ぎてしまった場合、「停止」スイッチをそのまま押し続けてください。1999年まで進むと2030年に戻ります。



②「開始」スイッチを押します。

「年」が確定し、「月」が点滅します。

※はじめてお使いの場合は「1/1」を表示します。



③「停止」スイッチを1回押すと…1月進む。必要な回数を押して、現在の「月」を合わせる。

④「開始」スイッチを押します。

「月」が確定し、「日」が点滅します。

⑤「停止」スイッチを押し日を合わせる。

※「開始」スイッチを押し、「日」を確定すると、「24時間/12時間切替」表示になります。



「24時間/12時間切替」表示



4. 待機時の時計表示を「24時間表示」にするか「12時間表示」にするかを選択する

※待機時の時計表示は「有」「無」の設定ができます。(10ページ)

※印字される測定時刻は、本設定に関わらず24時間表示です。

①「停止」スイッチを押して、「24H」/「12H」を切り替えます。

「24H」：24時間表示 (0:00～23:59)

「12H」：12時間表示 (1:00～12:59)

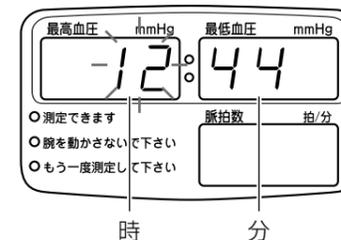


②「開始」スイッチを押します。

「24時間/12時間表示」が確定し、「時・分」表示になり、「時」が点滅します。

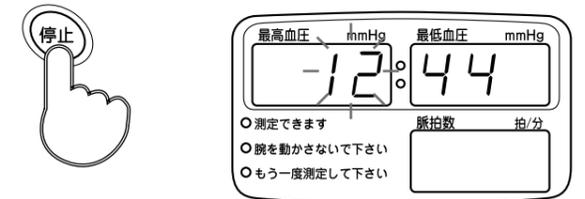


「時」点滅表示



5. 現在の「時」「分」に合わせる

①「停止」スイッチを押して、現在の「時」に合わせます。



※手順4で「12時間表示」を選択したときは、脈拍数表示部に「A」(午前)／「P」(午後)が表示されます。

例：午後12時44分



「A」/「P」を表示

②「開始」スイッチを押します。「時」が確定し、「分」が点滅します。



③「時」と同じように、現在の「分」を合わせます。

※「分」を合わせて「開始」スイッチで確定すると、「年・月・日」表示に戻ります。

6. 本体背面の「モード」スイッチを「測定」に戻す

「モード」スイッチを「測定」に戻すと、日付・時刻の設定が完了します。

※日付・時刻の設定中に「モード」スイッチを「測定」に戻した場合、合わせたところまでの修正になります。

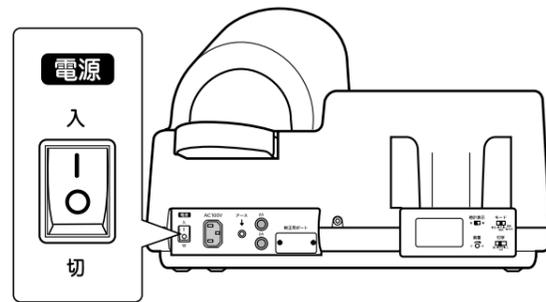
7. 「電源」スイッチを「切」にする

測定する

本血圧計および患者に異常のないことを絶えず監視して、測定をおこなってください。
あらかじめ印字モードを設定し、プリンタ用紙をセットしておいてください。
(14、15ページ)

- ・「モード」スイッチは必ず「測定」にしてください。
- ・音声ガイドの音量は本体背面の「音量」つまみで調節してください。
- ・測定中に加圧が止まらないなどの異常があったときは、「非常停止」スイッチを押してください。
- ・小学生以下の方、腕周20~33cm以外の方は測定できません。

1. 「電源」スイッチを「入」にする

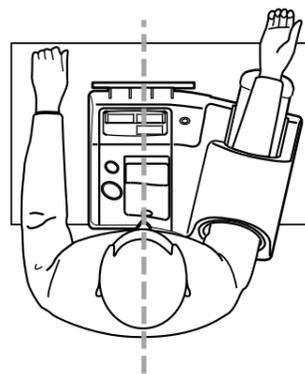


2. 上着、セーターなど厚手の衣類を脱ぐ

素肌または薄手のシャツで測定してください。

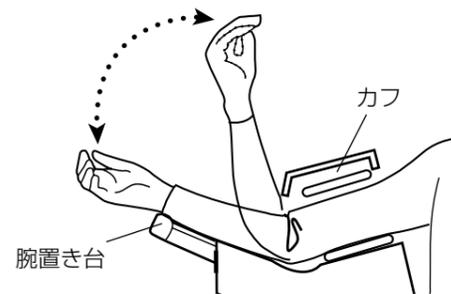


3. イスに座り、体の中心をパネルの中心に合わせる

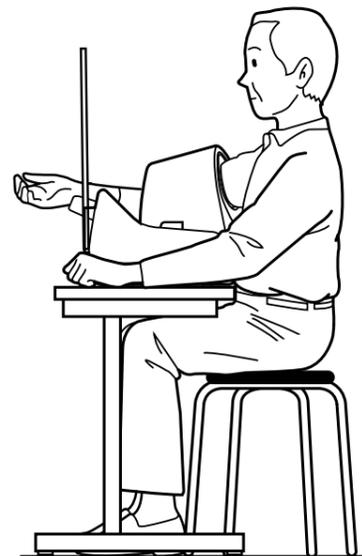


4. 右腕をひじが曲がる位置までカフに入れる

手のひらは上向きにしてください。



5. イスを前に寄せて、お腹を机につける



■背の高い方は…

お腹を少しテーブルから離してください。

■背の低い方は…

ざぶとんをあてるなどして高さを調節してください。

6. 安静にして、深呼吸を2~3回する

7. 「開始」スイッチを押す

自動的にカフが腕に巻き付けられ測定を開始します。



- ※途中で測定を中止したいときは「停止」スイッチを押してください。
- ※測定中に患者が腕や身体を動かさないようにしてください。
- ※加圧不足と判断された場合は、自動的に再加圧されることがあります。

8. 測定が終わったら腕を抜く

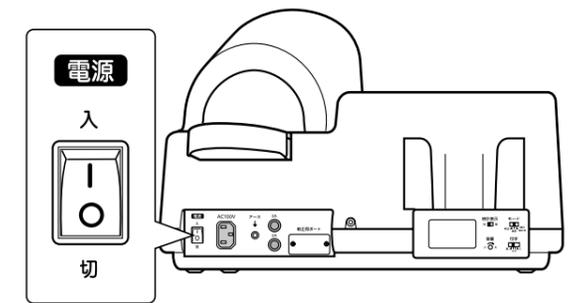
空気が抜け、カフが解放されたら、腕を抜いてください。
表示部には、最高血圧、最低血圧、脈拍数が表示されます。



9. 印字された測定結果が出てきたら、用紙を切り取る

プリンタ用紙が自動切断されるまで引っ張らないでください。紙づまりの原因になります。

10. 「電源」スイッチを「切」にする



■安全機能について

本血圧計は、以下の安全機能を持っています。

- 過大加圧防止機能
カフ圧が300mmHgを超えた場合、最低血圧表示部に「Er3」が表示され、ただちに急速に排気します。
- 異常時の加圧防止機能
腕を入れないで間違えて「開始」スイッチを押した場合などは、カフの破損を防ぐため加圧が始まらないようになっています。

■測定回数を確認する

本血圧計は測定回数を記憶しています。今日の合計、先月の合計、今月の合計、現在までの総合計を印字して確認できます。

管理者のための印字例

1999年 1月27日	
12時47分	
今日 00039	今日の合計測定回数
12月 01234	先月の合計測定回数
1月 01123	今月の合計測定回数
合計 23961	現在までの 総合計測定回数

1. 「電源」スイッチを「入」にします。
2. 本体背面の「モード」スイッチを「校正」に切り替えます。
3. 「停止」スイッチを押します。
4. 測定回数が印字されます。

使用後の清浄について

いつも清潔にしてお使いください。
清浄するときは、必ず電源プラグを抜いてください。

本体

1. 水、希釈した消毒用アルコール、
または希釈した中性洗剤などを含ま
せてよく絞った柔らかい布で拭く

2. 次に乾いた柔らかい布でから拭き
する

※清浄に際し、電源コネクタ部は拭かないで
ください。



カフカバー

カフカバーが汚れたときは、手洗いで洗濯してください。

カフカバーの取りはずし方 (P.13ページ)

※オプションとして交換用カフカバーをご用意しています。詳しくはオムロンお客様サービスセンターまでお
問い合わせください。(P.29ページ)

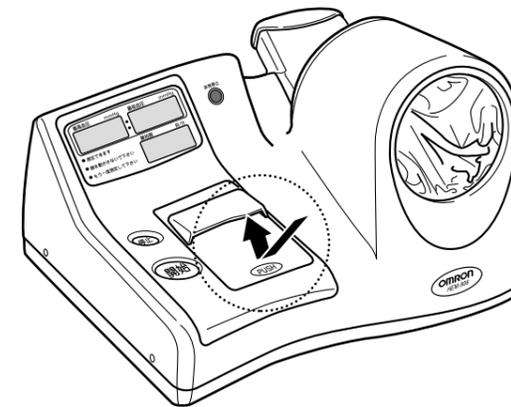
プリンタ

プリンタの内部のゴミを掃除機で吸い取ってください。
プリンタ用紙10巻ごとを目安に掃除機を使用して清掃してください。

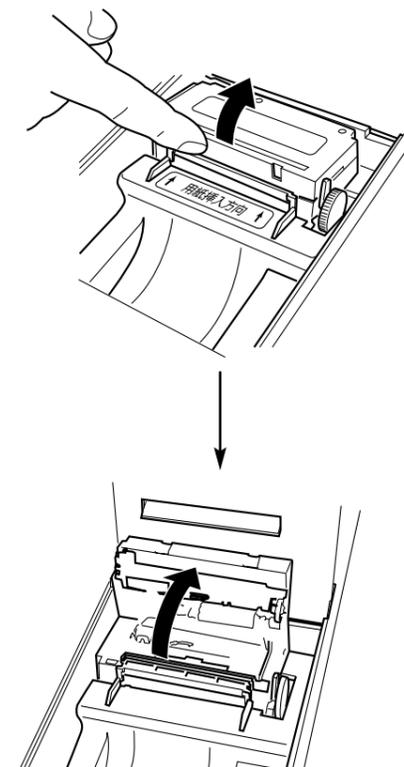
※プリンタ清掃時は、掃除機の先をプリンタに強くあてないでください。

1. プリンタカバーを開ける

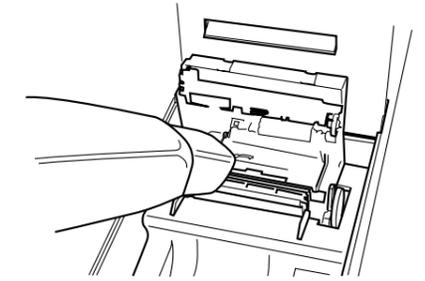
「PUSH」部を押して開けてください。



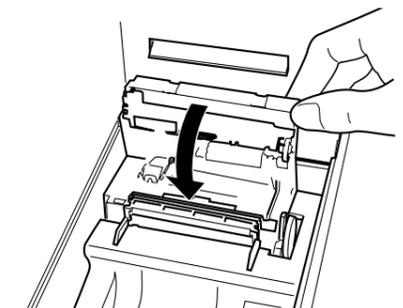
2. 用紙挿入口方向のフタを開ける



3. 内部のゴミを掃除機で吸い取る

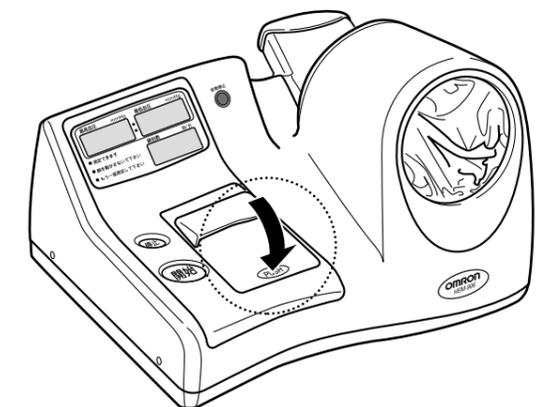


4. フタを閉じる



5. プリンタカバーを閉じる

カチッと音がするまで閉じてください。



較正機能について

本血圧計は、圧力計として精度確認をおこなうための較正機能を持っています。
正しく調整された水銀血圧計を本血圧計に接続して加圧測定をおこない、水銀血圧計と本血圧計の値を比較します。

- ・ 較正時は腕を入れません。加圧しても壊れない丈夫なもの（茶筒等）をカフに入れます。
- ・ 実際の血圧測定と違いますので加圧機能ははたらきません。

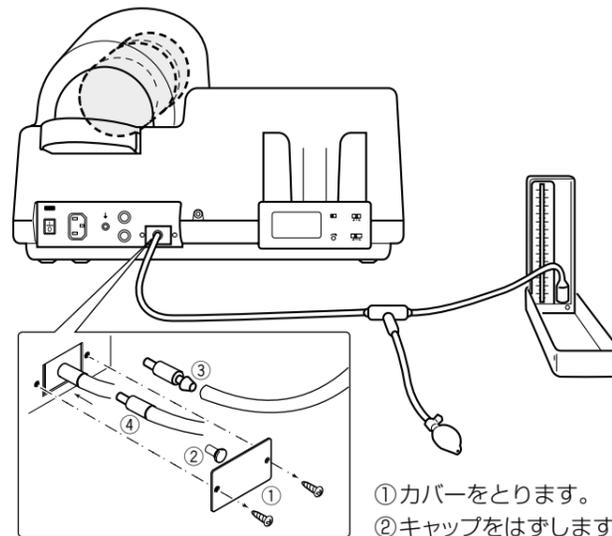
■用意するもの

- ・ 付属品の較正用エアプラグ（[28ページ](#)）
- ・ 正しく調整された水銀血圧計（ゴム球を含む）
- ・ T字管
- ・ ゴム管（2本）
- ・ 茶筒などカフを巻き付けるもの（加圧しても破損、変形しない丈夫なもの）

※ 水銀血圧計でも水銀タンク中の水銀量の不足、ガラス管の汚れ、ガラス管キャップの目づまりなどで誤差が出る場合があります。

■較正手順

1. 「電源」スイッチが「切」になっていることを確認します。
2. 本体背面の「較正用ポート」カバーのネジをゆるめ、カバーを取りはずします。
3. 較正用ポートのキャップをはずし、較正用エアプラグに差し替えます。
4. 図のように水銀血圧計、ゴム球、本機をT字管で接続します。
5. 「電源」スイッチを「入」にします。
6. 本体背面の「モード」スイッチを「較正」に切り替えます。
7. 丈夫な筒状のものをカフに入れ、「開始」スイッチを押しカフに巻き付けます。
8. ゴム球の排気弁を開放状態にします。
9. そのまま3分程度開放します。（内部の電気回路などが安定します。）
10. ゴム球の排気弁を閉じ、適当な値（検査する圧力）まで加圧します。



- ① カバーをとります。
- ② キャップをはずします。
- ③ 較正用エアプラグをエア管にはめ込みます。
- ④ 本体の較正用ポートに接続します。

11. 水銀柱の読みが落ちついたところで、水銀血圧計の値を読み取り、比較します。
12. 比較が終わったらゴム球の排気弁を開放し、再度「開始」スイッチを押し、カフを開放します。
13. 本体背面の「モード」スイッチを「測定」に戻します。
14. 「電源」スイッチを「切」にします。
機器および較正用エアプラグを取りはずしてください。
較正用ポートのキャップをはめ、「較正用ポート」カバーを閉じてください。

■較正結果について

計量法では、血圧計の検定公差（出荷時の圧力精度）は±4mmHgを超えないことになっています。
※ 較正結果が±5mmHg以上になった場合は、オムロンお客様サービスセンターにご相談ください。
（[29ページ](#)）

エラーコード一覧

■測定不能エラー

最低血圧表示部にエラーコード (Er0~Er8) が表示されます。

エラーコード	原因	直しかた
Er0	<ul style="list-style-type: none"> 腕を入れずに「開始」スイッチを押した 患者の腕周が細すぎた 	<ol style="list-style-type: none"> 腕が正しく入れられているか確認してください 腕周が20cm未満の腕の細い方はカフが巻き付けられないことがあります測定できません。他の方法で測定してください
Er1	<ul style="list-style-type: none"> 加圧を開始後、15秒経過しても15mmHgまで上昇しなかった 加圧を開始後、規定された時間内に設定されたカフ圧に達しなかった 	<ol style="list-style-type: none"> カフの後方から出ているゴム管が折れていないか確認してください
Er2	<ul style="list-style-type: none"> 測定時減圧速度が遅すぎた 測定時減圧速度が速すぎた 測定開始後、規定された時間内に測定が終わらなかった 	<ol style="list-style-type: none"> 較正用エアコネクタにキャップが入っていることを確認してください
Er3	<ul style="list-style-type: none"> カフ圧が300mmHg以上になった 	カフの後方から出ているゴム管が折れていないか確認してください
Er4	<ul style="list-style-type: none"> 患者が加圧中に腕や身体を動かしたため加圧不足になった 加圧中に不規則脈波が頻繁に発生したため加圧不足になった 	<ol style="list-style-type: none"> 加圧中に患者が腕や身体を動かさないようにしてください 不規則脈波がないか確認してください
Er5	<ul style="list-style-type: none"> カフ圧が規定された圧力になっても測定が終わらなかった 	正しく腕が入れているか確認してください
Er6	<ul style="list-style-type: none"> 患者の脈波が小さすぎて血圧を測定できなかった 患者の上腕部をシャツなどで圧迫して脈波が小さくなり血圧を測定できなかった 	<ol style="list-style-type: none"> 正しく腕が入れているか確認してください 患者の上腕部をシャツなどで圧迫していないか確認してください 厚手のセーター等そのまま測定していないか確認してください
Er7	<ul style="list-style-type: none"> 測定中の動き、不規則脈波などにより、血圧を測定できなかった 	<ol style="list-style-type: none"> 不規則脈波がないか確認してください
Er8	<ul style="list-style-type: none"> 脈拍数が測定範囲 (30~200拍/分) 外であった 	<ol style="list-style-type: none"> 測定中に患者が腕や身体を動かさないようにしてください

■装置エラー

最低血圧表示部にエラーコード (Er9) が表示されます。電源を入れなおしても同じ表示の場合、修理が必要になります。

エラーコード	原因	直しかた
Er9	<ul style="list-style-type: none"> 血圧計本体の故障です 	オムロンお客様サービスセンターに連絡してください (☎ 29ページ)

■プリンタエラー

脈拍数表示部にエラーコード (HU) または (PE) が表示されます。

エラーコード	原因	直しかた
HU	<ul style="list-style-type: none"> プリンタ横のレバーが上がったままになっていて、印字できない (ヘッドアップ) 	プリンタ横のレバーを下げてください (☞ 15ページ)
PE	<ul style="list-style-type: none"> プリンタ用紙がなくなっている (紙切れ) 	新しいプリンタ用紙をセットしてください (☞ 15ページ)

おかしいな?と思ったら

ご使用中に異常が生じた場合は次の点をお調べください。

こんなとき	考えられる原因	直しかた
「電源」スイッチを「入」にしても何も表示しない	電源コードが抜けたり、ゆるんだりしている	電源コードを正しく接続します (☞ 12ページ)
	ヒューズが切れている	修理を依頼してください (☞ 29ページ)
「開始」スイッチを押しても圧力が上がらない	背面の「モード」スイッチが「較正」または「時計あわせ」になっている	「測定」にしてもう一度測定してください (☞ 10ページ)
音声ガイドが鳴らない	背面の「音量」つまみが音量「小」の方向に絞込まれている	「音量」つまみを回して適切な音量に調整してください (☞ 10ページ)
異常に高く(低く)加圧される	正しい測定姿勢で測定していない	正しい測定姿勢でもう一度測定してください (☞ 19ページ)
	患者が加圧中に腕や身体を動かしている	測定中、患者が腕や身体を動かさないようにしてもう一度測定してください
	特定の患者さんだけです 不規則脈波などの場合、適正な加圧ができない場合があります	聴診法などにより確認してください (☞ 4ページ)
測定できない 測定値が異常である	まずは、患者の容態を確認してください	必要に応じ聴診法などにより患者を確認後「エラーコード一覧」に従い、適切な処置をしてください (☞ 25ページ)
	測定中、患者が腕や身体を動かしている	測定中、患者が腕や身体を動かさないようにしてもう一度測定してください
	患者に不規則脈波がある	聴診法などにより確認してください (☞ 4ページ)
	正しい測定姿勢で測定していない	別売品の専用イス以外のイスをお使いの場合は、高さ43cmのものを使い、正しい姿勢で測定してください (☞ 11、19ページ)
	イスが高すぎたり、低すぎたりしている	
正しく腕を入れていない	正しく腕を入れてもう一度測定してください (☞ 19ページ)	

こんなとき	考えられる原因	直しかた
印字できない	「印字」スイッチが印字「無」の位置になっている	印字モード「A」「B」「C」のいずれかの位置に設定してください (☞ 14ページ)
	用紙の表裏が逆になっている	正しい方向に用紙をセットしてください (☞ 15ページ)
	用紙がつまっている	電源を切り、プリンタカバーを開け、プリンタ横のレバーを上げ、用紙を引き抜いてください。その後、用紙を正しくセットしてください (☞ 15ページ)

※上記の方法でも、正常に測定ができない場合は故障が考えられます。商品の故障および修理の依頼につきましては、オムロンお客様サービスセンターまでお問い合わせください。(☞ 29ページ)

※ごくまれにその方の体質上誤差を生じて測定できない方がおられます。このような場合にもオムロンお客様サービスセンターまでご相談ください。(☞ 29ページ)

お問い合わせ先

おかしいな?と思ったら

「おかしいな?と思ったら」27・28ページをもう一度ご確認ください。

それでもお分かりいただけなかった場合は、下記のお客様サービスセンターにお問い合わせください。



修理・商品に関するお問い合わせ
別売品・消耗部品のお求めは

オムロンお客様サービスセンター

むろんオムロン

☎電話 **0120-30-6606** 通話料無料

FAX **0120-10-1625** 通話料無料

受付時間 9:00~19:00 月~金(祝日を除く)

都合によりお休みをいただいたり、受付時間帯を変更させていただくことがありますのでご了承ください。

修理には、便利な引き取りサービスをご利用ください。



別売品・消耗部品は、インターネットでもお求めいただけます。

オムロンインターネットパーツセンター

<http://shop.healthcare.omron.co.jp>

24時間受け付けています。(通信料、送料はお客様ご負担となります)

オムロン健康商品ホームページ

<http://www.healthcare.omron.co.jp/>

※通信料はお客様ご負担となります。

休日・夜間のお問い合わせは

オムロン医用機器センターまでお問い合わせください。

全国どこからでも

☎電話 **0120-60-2406** ダイヤルは正確に

仕様

医療機器認証番号	21000BZZ00679000
類別	機械器具18 血圧検査又は脈波検査用器具
一般的名称	医用電子血圧計
医療機器分類	管理医療機器 特定保守管理医療機器

販売名	オムロン全自動血圧計 HEM-906
表示方式	LEDによるデジタル表示方式
測定方式	オシロメトリック法
測定範囲	圧力/0~299mmHg 脈拍数/30~200拍毎分
測定精度	圧力/±3mmHg 脈拍数/読み取り値の±5%以内
加圧	ポンプによる自動加圧方式
減圧	電磁式コントロール弁による自動減圧方式
排気	電磁式コントロール弁による自動急速排気方式
圧力検出	静電容量式半導体圧力センサ
適合腕周範囲	20~33cm
電源電圧	AC100V 50/60Hz
消費電力	30VA
電撃保護形式	クラスⅠB形
使用温湿度	10~40℃ 30~85%RH
保存温湿度	-20~60℃ 10~95%RH
本体質量	約10kg
外形寸法	幅502×高さ329×奥行407mm
付属品	操作用取扱説明書(品質保証書付き)、医療機器添付文書、説明パネル(1部)、説明用ポスター(1部)、カフカバー(2セット)、プリンタ用紙(1巻)、電源コード(3.5m)、アースコード(6m)、較正用エアプラグ
別売品	専用机、専用イス、カフカバー(1セット)、プリンタ用紙(5巻)
製造販売元	オムロンヘルスケア株式会社 住所:〒615-0084 京都府京都市右京区山ノ内山ノ下町24番地 電話:0120-30-6606(オムロンお客様サービスセンター)

※お断りなく仕様を変更する場合がありますのでご了承ください。

EMC 適合 本製品はEMC規格IEC 60601-1-2:2001に適合しています。

本製品はJIS規格JIS T 1115:2005に適合しています。